

	リビング・オブ・ザ・イヤー 募集要項
主催	高齢者住宅経営者連絡協議会（以下、高経協）
後援	—
目的（趣旨）	日本国内で発表され、入居が開始された高齢者住宅（有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、グループホーム、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、ケアハウス、分譲型ケア付きマンション）の中から、高齢者が安全に尊厳ある暮らしができ、スマートハウス化も含めた生活空間・各種サービスで最も優れた高齢者住宅を選定し、その開発・運営事業者を讃えることにより、より一層の品質・安全の向上を促すと共に、より未来志向の高齢者住宅の普及・業界発展に寄与することを目的とします。
実行委員	・高経協役員 7 名 会 長 森川 悦明（オリックス・リビング株式会社 代表取締役）（LOY 委員長兼務） 幹 事 植村 健志（株式会社アズパートナーズ 代表取締役） 三重野 真（株式会社荒井商店 取締役） 浦田 慶信（株式会社生活科学運営 代表取締役社長） 田中 康夫（株式会社東急イーライフデザイン 代表取締役社長） 監査役 吉田 肇 （株式会社マザアス 代表取締役） 事務局長 田村 明孝（株式会社タムラプランニング&オペレーティング 代表取締役）（LOY 委員兼務） ・リビング・オブ・ザ・イヤー委員会委員（以下、LOY 委員） 6 名 副委員長 国政 貴美子（株式会社ベネッセスタイルケア 代表取締役副社長） 碓田 茂 （株式会社サミュエル 代表取締役） 安永 雄一郎（株式会社センチュリーライフ 代表取締役社長） 夏目 芳宏（社会福祉法人聖隷福祉事業団 執行役員 高齢者公益事業部運営管理部長） 下村 隆彦（株式会社チャーム・ケア・コーポレーション 代表取締役社長） 中澤 俊勝（株式会社フィルケア 代表取締役社長） ・高経協会員 8 名 立候補 妻鹿 由美子（株式会社オフィス mega 代表取締役） 山下 宏行（株式会社共立メンテナンス 執行役員） 森野 佳織（株式会社ツクイ 取締役執行役員） 多田 和之（東急ウェルネス株式会社 常務取締役） 佐伯 智（東宝サポートライフ株式会社 専務取締役） 安生 均（株式会社ハートフルケア 代表取締役） 葛城 武典（株式会社有楽 代表取締役） 増田 真有美（医療法人社団容生会 常務理事） 計 21 名 ※一次審査から二次審査までを担当。※会社名 50 音順・敬称略
選考委員	・高経協会員 30 社 30 名 ※会員のうち、実行委員に選出されていない会員で構成されます。 ・一般 70 名 ※LOY 委員による選出：高齢者住宅に専門的知識を持った有識者、設計者、介護保険サービス提供者（ケアマネージャー）。 公募：シンポジウム参加者、消費者団体、学生等、一般の方。 計 100 名 ※最終審査を担当。選考委員は決定次第、氏名が公表されます。予めご了承ください。
エントリー対象	1. 第 1 回に限り 2011 年 4 月 1 日から 2014 年 3 月 31 日までに日本国内で発表および運営を開始した全ての高齢者住宅。 2. 次の条件の少なくとも 1 項目を満たしていること。 ①新たな医療連携あるいは看護、看取りを行なっていること。 ②認知症ケアについて独自のプログラムや人材育成を行っていること ③地域との連携を積極的行なっている、もしくは地域の拠点として活動していること ④過去にない、斬新なコンセプトに基づいて作られた高齢者住宅であること。 ⑤省エネ、CO2 削減、創エネにおいて新たな試みがなされていること。 ※自薦、他薦は問いませんが、他薦の場合は推薦ホームの同意を得てからのエントリーとします。
審査の流れ	2014 年 1 月～3 月/末日 エントリー受付（エントリー期間：2014 年 1 月 6 日～3 月 31 日）（当日消印有効）、一般選考委員 70 名の選出 4 月/末日 エントリーしたホームの公表 5 月～6 月/末日 一次審査（21 ホームを選出） 6 月/末日 一次審査を通過した「ノミネートホーム」21 ホームの公表 7 月～8 月/末日 二次審査（7 ホームを選出） 8 月/末日 二次審査を通過した 7 ホームの公表 9 月 15 日 最終審査「敬老の日公開プレゼン」を行い、会場内の投票により得点上位のホームに賞を贈呈

審査方法	一次審査：書類審査（審査：実行委員） ・提出されたエントリーシートを審査。各委員それぞれが 21 ホームに投票します。 ・集計結果上位 21 ホームを「ノミネートホーム」として公表します。 ※同点で 21 ホーム以上になった場合は実行委員による決選投票を行います。 二次審査：ホーム見学審査（審査：実行委員） ・3 人 1 チーム（全 7 チーム）となり、ノミネートホーム 21 か所(1 チーム 3 か所)の見学を分担します。 ・チームの構成および見学担当施設については、公平を期すため、それぞれ抽選とします。 ※委員の運営するホームが見学ホームとなった場合にのみ、調整を行います。 ・それぞれのチーム内で合議し、見学した 3 ホームの中でどこが 1 番かを決めます。 ・7 チームのそれぞれの 1 位、7 ホームがファイナリストとして最終審査に進みます。 最終審査：「敬老の日公開プレゼン」（審査：選考委員） ・ファイナリスト 7 ホームの代表者に、1 ホーム 10 分間でプレゼンをしていただきます。 ・各委員が 7 ホームの中で 1 位、2 位、3 位を決め投票します。 ※1 位＝10 点、2 位＝5 点、3 位＝2 点で計算し、一番得点の多かったホームを 1 位とします。同点の場合は上位の数が多いホームが上位となります。 ・当日、会場にて審査、結果発表、表彰が行われます。 ※会場には、選考委員、マスコミの皆様、高齢者住宅入居ご検討の皆様、どなたでもご入場いただけます（入場無料）。 《審査のポイント》※ハードよりソフトを重視します。 1. 新しい運営コンセプト 2. 介護サービス（①認知症ケア ②看取りケア ③身体介護） 3. 医療連携 4. 地域連携 5. 食事サービス 6. 看護サービス 7. より優れた研修体制 8. 省エネ、創エネ 9. ハード 共用スペース 10. ハード 専用居室 ※透明性確保のため、各ホームの得点および各委員のつけた得点を随時公表します。
賞典	【第 1 位】【第 2 位】【第 3 位】【特別賞※該当があった場合のみ】を表彰します。 表彰の盾（第 1 位～3 位：大盾 他 4 ホーム：小盾）授与 ノミネートホームでファイナリストに選考されなかった 14 チームも表彰 受賞者は、賞状が与えられ、公表されます。
応募先・お問合せ先	高齢者住宅経営者連絡協議会 リビング・オブ・ザ・イヤー係 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-13 大手町宝栄ビル 602 TEL/FAX：03-3292-3289 MAIL：info@kokeikyo.com URL：http://www.kokeikyo.com